

# つばき

No.238

2025年6月発行

## 2025 国際協同組合年

2025 International Year of Cooperatives



\*\*\*\* 目 次 \*\*\*\*

- P 2 …第19回通常総代会
- P 3 …令和7年度事業報告会
- P 6 …子牛セリ市・作物ハイライト
- P 7 …JAグループ新採用職員農家体験実習
- P 9 …2025国際協同組合年
- P 10 …始良川クリーン作戦・  
JA肝付吾平町年金友の会ゴルフ大会
- P 12 …6月・7月行事予定表



協同組合はよりよい世界を築きます



新しい夢 どんどん

育てよう明日を

JAグループ鹿児島

感謝

おかげさまで77周年…



肝付吾平町

<http://www.ja-k-aira.jp/>





## 第19回通常総代会

### (通算77回) 全議案可決

5月27日(火)、JA本所2階大ホールにおいて、第19回通常総代会が、総代139名中96名の本人出席、21名の議決権行使書、2名の委任状により開催されました。

畠添組合長は、「JAグループでは農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化を基本目標に、不断の自己改革に取り組んでまいりました。

令和7年度は、中期3ヶ年計画の初年度として、組合員・地域との結びつき・絆を大切に、信頼される元気なJAをめざして、役職員・従業員等と協同の心を結集し、農業振興を柱に挑戦・邁進してまいります。」とあいさつしました。

総代会では、東原班の田原孝一さんが議長に選任され、令和6年度事業報告や貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表のほか、中期3ヶ年計画、令和7年度事業計画など全5議案を提案し、全議案可決承認されました。

また、ピーマン農家の茅場博人さんよ

り「食料安全保障の強化に関する特別決議」を朗読いただき、総代の方々にご賛同いただきました。

表彰では、地域農業・畜産振興の維持発展にご尽力された、益田班の前田昭紀さん、持田班の東桂木利美さんへ感謝状の贈呈を行いました。



JA肝付吾平町畜産振興会  
前会長  
東桂木 利美さん



農事組合法人うましさと吾平  
前組合長  
前田 昭紀さん



ピーマン農家  
茅場博人さん



議長  
田原孝一さん

## 令和7年度事業報告会

5月13日(火)、JA本所2階会議室にて組合員を対象とした令和7年度の事業報告会を開催し、組合員・関係者約130名が出席しました。

会議では、JA事業に対する組合員の意見要望を事業に反映し、事業運営への理解促進を図ることを目的として、令和6年度事業報告や中期3カ年計画、令和7年度事業計画、自己改革の取り組みなどを説明しました。

その後、意見交換会が行われ、畠添組合長は「組合員との徹底した話し合いにより、食と農を基軸に農家組合員の所得向上・持続可能な農業・農協の健全経営を確立するため、組合員・利用者の要望に応え、これまで以上に自己改革の実現に向け、全力で取り組んでまいります。」とあいさつしました。

### 【意見・要望】

Q 鹿屋市においては、昨年から有機農業推進協議会を設立し、会合等のなかで有機農業の推進やオーガニック給食を進めていこうという案が出ております。組合長の挨拶のなかで安全安心な食材を提供するという話がありました。子供達の健康・安全を守るべきだと思います。農家所得の増大も1つの目標と

なっており、そのためには、付加価値を付けて出荷するというのが、1つのポイントだと思います。有機農業になると生産コストが高くなり、一斉に行うことは不可能だと思いますので、方向性として小規模の範囲からでも有機農業へ進めていくという考え方は無いかお聞きしたい。

また、茨城県常陸大宮市では農協と行政がタイアップしてオーガニック給食を進めています。そのようなことを参考にしながら、方向性を示し、付加価値を付けて農家所得を増大していただき、さらには地域の農畜産物を学校給食等で消費することによって、地産地消を進めていくことを期待しています。考えをお聞きしたい。

A 中央会・経済連等の会議において、JAグループ鹿屋島として、オーガニックの対応・方向性について確認しており、現在、協議中のため、総代会資料の事業計画へも掲載していません。食料安全保障の強化や安心・安全な農畜産物の確保・提供については、未来を支える子供達に必要なことです。

今後、行政や中央会・経済連等と前向きに協議を行いながら可能な限り対応してまいります。

Q 最近JAが株式会社化しているように思っています。JAは、組合員や農家・農業法人を

主体としたグループが根本だと思えます。JA職員として働いている以上は、そういう方々に根付いたサポートを行う働き方をしたいです。

現状として、来農した際に若い職員等が作物の品種を理解しておらず、現場へ出向いていないのが理由だと思います。本所や購買課の職員等は事務所に入りつきり、営農指導課の職員等は圃場へ巡回してきますが、巡回してくるのは同じ担当者ばかりで若い方々が巡回してきません。地域に密着した働き方をするのであれば、農家や農業法人とのつながりを大切にしたい方が良いと思います。

そのようななか、吾平町の出荷物等について理解していない職員等が多いと思います。購買課へ伺っても、薬剤の名称や使用方法が分からないことが多いことから勉強をしていただきたいという意味もあり、特に若い職員等について、農家や組合員等とのつながりを保つためにも、JA職員として、農地研修や農業体験等が必要になってくるのではないかと思います。

A 働き方改革やワークライフバランス等の時代の変化もありますが、現状として、営農指導課・購買課・給油所・オートパルにおいて人員が不足している状況です。

JAは、農家・組合員あつてのJAです。

今回、当JAは初めて連合会新採用職員の農業体験の受入を行い、信連・経済連等から3名の方々に研修へ来ていただき、ピーマン農家での農業体験やWCS（飼料用苗）の配布等を体験していただきました。当JAも自律創造型の人財育成・研修を強化し、農家組合員とのふれあいや、現場・現物・現実を学ぶためにも、今後、農業体験等について前向きに検討・対応してまいります。

Q 現在、有機農業に取り組んでいますか、かなりの手間がかかります。スーパーは有機農業に対して価格が決まっていますか、薬品を使った価格より2倍くらい高く納品してもらうことを約束的に、オーガニックに取り組んでいます。行政が携わっているのは、補助金を入れている関係上、農家の収入が上がるようになっていきます。有機農業は、除草剤を使用できないことから手間がかかってしまいます。なぜ、薬品を使用したらダメなのか、メーカーは有機農業に負けない薬品や、人体に影響のない薬品を作っていますか、私は人体に影響のない薬品を使用しています。

また、農協堆肥を使用し、窒素・加里の計算をしながら土壌へ蒔いています。昨年より鹿屋市は給食でオーガニックを提供していますが、鹿屋市がどのくらいで買取りを行っているのか分かりません。地産地消は農家が価

格を決めていますか、スーパー自体は基本的に有機農業野菜の買取りは行っていません。吾平町で有機農業を進めても賛同する方は少ないかと思えます。賛同したとしても、個人農家については有機農業を魅力的に感じないと思っています。

JAで有機農業を勧めることは構いませんが、有機農業は普通農業に比べてかなりの労力がかかります。労力がかかる上に、単価は変わらないのが現状です。JAとしても、有機農業へ取り組むのであれば、他の品種で立証していただき、成果が出るのであれば農家へ進めていただきたいと思えます。

A オーガニック農業は、行政や中央会・経済連等の支援・指導をいただかなければ対応が厳しい状況です。

今後、生産者等の意見を聴取しながら可能な限り対応してまいります。

Q 特別会計の当期欠損金が多いように思えます。JAが存続するためには欠損金を出さないような経営をしなければ存続しないと思えますが、どのような改善策を考えているのかお聞きしたい。

A 健全経営を確立するためには、事業利益を確保しなければならず、農業協同組合として、組合員への出資配当金や事業分量配当金等を還元しなければなりません。会社とは異

なりませんが、農業協同組合は組合員の農民生産と生活の向上を目的としています。

現状として、特別会計毎に共通管理費及び内部資金利息を除くと、会計上、赤字となっている部署が、Aコープ・堆肥センター・野菜選果場です。3部署については、当JAとしても部門別採算性を確保するため、毎月の理事会や経営企画会等を含めて経営改善策を協議・検討しています。

特にAコープは中央会や経済連、Aコープ鹿児島の指導を仰ぎながら管理・運営を行っています。継続的に課内会議・ヒアリング等を実施し、経営管理・経営分析を徹底のうえ、経営改善を図ってまいります。

野菜選果場は、各部会の意見を聞きながらコスト削減を図ってまいりたいと思えますが、鹿児島県の最低賃金も現在953円となっており、人件費・生産資材の高騰も含め、組合員の方々へ選果料改定等を提案させていただきます。よろしくお願いいたします。

堆肥センターは、施設が老朽化しています。堆肥センターは、施設が老朽化しています。堆肥センターは、施設が老朽化しています。堆肥センターは、施設が老朽化しています。

今後も経営改善に向け、新企画を含め経営努力してまいります。組合員・地域の方々のさらなるJA事業のご利用をよろしくお願ひします。

Q 組合員へ利用してくださいというお願いがありました。取り扱いが減少した理由やAコープを利用しない理由を調べなければ利用していただくと頼まれても何か対策を考えなければ変わらないと思います。堆肥センターについても同様で、農協堆肥を利用しない理由を調べなければ改善されないと思います。やはり、何かを変えないといけないと思いますので、検討していただきたい。また、どのようにして魅力あるAコープにするのか、魅力ある堆肥にするのかを考えて提案しなければ、現状維持で利用してほしいと頼まれても変わらないのかと思いますので、新しいことも含めて提案しながら改善していただきたいと思っています。

A Aコープは平成4年にオープンして32年経過しています。売上減少の要因として、人口減少・近隣競合店の進出・施設の老朽化等、経営環境の変化、物価高騰等の問題があります。

現状として、厳しい経営状況が続いています。改善策として売上拡大・経費抑制の対策や新企画、人件費の削減等により経営改善・経営努力を図っています。理事会等でも、今後の対応策について検討していますが、令和7年8月末仮決

算を基準に、今後の方向性について慎重に対応・改善してまいります。

Q Aコープの従業員の方は、対応が良く、とても感心しています。しかし、目玉商品が無いように思います。実は、友人から鹿屋農業高校の卵をいただいたのですが、どこで販売しているのかを尋ねたら、大始良のAコープで販売しており、何度も並んで買い物をしていくようです。1度だけ友人と行きましたが、お客様も多く感じました。このような目玉になる企画を考えたら違うのではないかと思います。

A Aコープでは、特に人気商品として地鶏の刺身が売れています。

卵の件は、以前、鹿屋農業高校へお願いした経緯もありますが、数量が少なく取り扱いができませんでした。再度、交渉しながら、Aコープでも前向きに目玉商品等について検討・対応してまいります。



## 第28回JA肝付吾平町 青壮年部美里会通常総会★



6月5日(木)に、第28回JA肝付吾平町青壮年部美里会通常総会が開催されました。

まず、青壮年部美里会リーダーの大園和哉さんが、「私たち青壮年部美里会で、これからもJAと一体となり切磋琢磨しながら農業・地域を盛り上げていきましょう。」と、あいさつされました。

総会では、全ての議案が承認され、役員改選では新リーダーに、永山智哉さんが選任されました。

また、なす農家の大野慎也さん、ピーマン農家の末次慎也さん、養豚農家の森健一朗さんの3名が、新たに加入され、全部員27名で切磋琢磨しながら、地域農業と地域活性化に向けた活動を展開してまいります。



## 子牛初セリ市

毎月、子牛セリ市が開催される週の平日の5日間、  
母牛用飼料と一般ふすまの特売実施中!

	性別	頭数	体重平均	最高	最低	価格平均
4月 子牛セリ	めす	28	286	625,000	452,000	562,250
	去勢	45	312	873,000	537,000	695,689
	合計	73	302	873,000	452,000	644,507
5月 子牛セリ	めす	32	276	611,000	388,000	507,906
	去勢	29	312	783,000	431,000	657,552
	合計	61	293	783,000	388,000	579,049



## 吾平町・肝属 春季畜産共進会

4月10日(木)吾平町春季畜産共進会が、吾平町畜産センターにて開催され、30頭が出場しました。出品牛は部門ごとに黒毛和種審査標準に従い審査され序列を競い、5頭が吾平町代表として郡の共進会に出場することになりました。

5月9日(金)第45回肝属春季畜産共進会が、肝属中央家畜市場にて開催されました。各地区の代表59頭が出品され黒毛和種審査標準に従い1区・2区・3区ごとに審査がされ序列を競いました。

なお、吾平町出品牛の郡共進会成績は次のとおりです。

出品区	名号	出品者(敬称略)	成績
1部	うめひさ	立元 幸男	優秀賞
2部	くみこ	田中 毅	優秀賞
	みつゆり242	立元 幸男	優秀賞
	ちかん5126	本君田 修	優秀賞
3部	ひでひさ	倉岡 順一	優秀賞



出品者・関係者の皆さま、ご協力ありがとうございました。

## 作物ハイライト

### ピーマン

5月29日の出荷で終了しました。定植時期の異常高温、10月の曇天、スリップス等の病害虫の発生など、シーズンを通して栽培管理に苦労しましたが、生産者の努力により4月末までの実績は総出荷量約756t、販売金額約5億8百万円となりました。6月より、次年度に向けて後片付けや圃場準備作業に頑張っています。

### なす

6月下旬で出荷終了します。生産者の皆さんは最後まで管理収穫作業を頑張ってください。4月末までは総出荷量約93t、販売金額約4千万円の実績となりました。

### 春かぼちゃ

ハウス40a、ポリタフベル約130アールを作付けしました。

ハウスかぼちゃを5月10日に出荷し、5月12日に初セリされ中心階級で10kgあたり5,500円~5,000円と高単価での販売となりました。

5月下旬からハウスの2番果、ポリタフベル栽培の出荷を迎えます。今後、病害虫防除を徹底し、高品質のかぼちゃ生産に努めます。

### ばれいしょ

低温の影響で、例年より10日程度生育が遅れましたが、晩霜の被害もなく、5月上旬までの好天候により順調な生育で増収が見込まれる年となりました。しかし、梅雨入りが5月16日と例年より早く、一部軟腐病の発生が見られました。

出荷は、5月下旬より始まり、6月中旬で終了する予定です。反収は、順調な生育となり3.5t~4tと安定した出荷を見込んでいます。

### ごぼう

1畝1条蒔きに作型を変更したこともあり、発芽率が85%以上となり、5月末現在まで天候に恵まれ順調な生育と、病害虫の発生もなく増収・安定出荷が見込まれます。



## 税務研修会

5月22日(木)、JA本所にてJA肝付吾平町青色申告会主催の「税務研修会」が会員・JA役職員等23名出席のもと開催されました。

研修会は適正納税による節税を図ることで農業経営発展に寄与することを目的とし、開催にあたり茅場 博人会長が「人生100年時代といわれる現代において将来に向けより賢く、より積極的に資産を形成していく必要に迫られています。きっと今日は皆様の資産形成の一助となり、ひいては地域全体の活性化にも繋がることを願っています。」とあいさつされました。

研修では、JA鹿児島県信連の内村課長を講師に迎え、「iDeCo(イデコ)・NISA(ニーサ)を活用した節税対策について」というテーマのもと、iDeCo・NISAの基礎知識、掛金ごとの節税効果等について研修会が行われました。

青色申告会では、青色申告の普及拡大を図るとともに税に関する情報提供を行い、納税意識の高揚と税務申告に関する知識の向上に努めてまいります。



JA 鹿児島県信連 内村課長

## JAグループ鹿児島連合会 ～新採用職員農家体験実習～

5月8日(木)～15日(木) 8日間、JAグループ鹿児島連合会では新採用職員に対して農家体験をさせることにより農業・JAへの理解を深めさせ、業務の質的向上に反映させることを目的に対象者48名(うち当JA受入3名)が、各JAで農業体験実習を行いました。

当JAへは、県経済連 2名・県信連1名が、受入先ピーマン農家 永山 裕太さん・牧 正実さん・茅場 博人さん3名のピーマンハウスで農業体験実習を行いました。「農業は初めてで宝探しをしているみたいで毎日が新鮮です。」「水稻育苗ハウスでの箱苗の積込みや農家さんとの会話が農家体験をしていると実感できました。農家



右上：経済連燃料自動車課 竹沢 郁哉さん  
左上：経済連営業開発課 森 勇大朗さん  
下：信連貯金為替課 石走 魁晟さん

体験を通して自然に触れ合い、育て収穫することは、食べ物への感謝や興味を持つよい機会をいただきました。地域の農家や地域住民との交流を通じて、地域の文化や価値観を深く理解することも農業は可能性を持っているなかで、JAの役割がいかに大切であるか実感しました。」と話していただきました。

当JAは、食と農を基軸に持続可能な地域農業を振興・発展させるため、今後も農家体験実習の受入対応を行ってまいります。



## ATM定期点検のお知らせ



### 6月24日(火) : 10:00~12:00まで

ATM定期点検のため、ATMをご使用できません。  
ご不便をお掛けいたしますが、ご了承ください。

### 6月27日(金) 23:40~29日(日) 12:00まで

API連携基盤の更改作業に伴い、JAバンクアプリ及び即時口座振替・Web口座振替受付サービスのご使用が一時利用停止いたします。  
ご不便をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

問合せ先: 金融共済課 金融係 58-6538

## 吾平町農業用廃プラスチック類回収

4月28日(月)、澱粉工場跡地にて吾平町農業用廃プラスチック類の回収が行われ、回収実績は3.9tとなりました。

**【農薬容器回収方法】**

- ① ラベル・キャップを取り外し、容器の中をキレイに洗浄する。
- ② キャップと容器は別々に透明の袋に入れる。
- ③ ラベルがプラスチック製の場合は、袋状の農薬袋とまとめる。またはラベルのみを透明の袋に入れる。
- ④ ラベルが紙製の場合は引取りできません。

※ラベル・キャップが付いたままの状態、袋の中で混ざっている状態、容器をきれいに洗浄していない場合、引き取ることができませんので、ご注意ください。

農業用廃プラスチック類は産業廃棄物であり、車両での運搬の際は、その旨を記載した表示をすることが法律で義務付けられていますので、取り組みのご協力をよろしく申し上げます。次回は、7月の実施予定です。

**農業用廃プラスチック類の梱包方法**

《塩ビパイプ》	《苗箱》	《すべてのカゴ類》	《ポット》	《農業ボトル》	《タンク》
					
約1mに切断し、結束	重ねて結束	切断し、結束	重ねて袋にまとめる	キャップ・ラベルを取り外し中を洗う	切断し、結束




シロアリ予防・駆除 無料調査のご相談は



## JA 営農センター購買課

# ☎58-5050

このような場合は  
すぐに調査を  
ご依頼ください。

- 羽アリが飛んできた。
- 床がブカブカする。
- 床下の湿気が多い。
- 近所の家がシロアリの被害を受けた。
- 庭の木切れや杭等にシロアリがついている。



株式会社 西日本シロアリ

www.n-shiroari.com/



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

# 2025 国際協同組合年

2025 International Year of Cooperatives

## 2025年は国際協同組合年です

2025年は、国際協同組合年と定められました。2012年に続いて2回目です。協同組合をもっと盛んにして、SDGs（持続可能な開発目標）をもっと現実のものとするために、国連は協同組合を評価、重視し、期待を寄せています。

また、国連と歩調を合わせて、世界各国の政府や協同組合に、国際協同組合年を活用することを求めています。

日本国内の協同組合においても事業・活動をさらに発展させ、協同組合に対する認知度を高めていく絶好の機会と捉え、政府や関係者の方々とは協力しながら、この機会を活かして行きたいと考えています。

国際協同組合年は、協同組合の事業を利用する方、活動に参加する方、そして働く方を広げるチャンスとも言えます。

## 協同組合を「学び」「事業や活動を実践し」「発信してみませんか」

学び

01

- ①国際協同組合年について学び、共有してみよう。
- ②協同組合とは何か、何を大切にしているか、どのように運営するか、あらためて協同組合らしさを（協同組合のアイデンティティ）を学ぼう。

実践

02

- ② みんなで話し合い、つながりの輪を広げ、できるところから始めてみよう。

発信

03

- ③ 学んだこと、実践していることを発信してみよう。発信することで知ってもらい、地域のつながりの輪を広げましょう。

これまでこれからも、協同組合のことを広く知る、知ってもらい、そして共感や信頼につなげることが大切です。

2025国際協同組合年を迎えた今、協同組合同士が連携を深め、社会課題の解決に一層取り組んでいくことが期待されています。

## 第38回 始良川クリーン作戦



小浜 昭二 会長

6月2日(日)、始良川河川愛護会主催による始良川クリーン作戦が開催されました。アユが泳ぎ、釣りや川遊びができる始良川であって欲しいとの思いから、川の清掃やアユの放流、釣り大会などを行っています。町をあげて行う始良川クリーン作戦には、いろいろな世代の人が川の清掃に取り組んでいます。「守ろう私たちの川、育てよう、ボランティア精神」をスローガンに掲げ、恒例となりましたクリーン作戦は、今回で38回目を迎えました。

始良川を守ろうと会員・地域住民の方約250名が参加してのクリーン作戦となりました。

小浜 昭二会長は、「ボランティア活動の意識が皆さん高く、一人の力が集まれば大きな力になります。始良川を愛してくださる皆さんに心から感謝いたします。」と話していただきました。

J A 肝付吾平町も団体会員・個人会員として河川愛護会の会員となっています。「地域に貢献し信頼されるJ A」を実現するため、これからも地域に密着した活動を続けてまいります。



地域の力が大きな力へと

## 第12回 J A 肝付吾平町年金友の会ゴルフ大会

5月2日(金)、第12回 J A 肝付吾平町年金友の会ゴルフ大会が、鹿児島鹿屋カントリークラブにて開催され、会員31名が参加されました。

大会は、年金友の会員の親睦と健康増進を図る目的で開催され、当日は天候にも恵まれ快晴のなか、「ゴルフの魅力は、ナイスショット時の爽快感、自然の中でプレーする開放感、そして同伴者との交流が楽しめることです。」と参加者の声を聞くことができました。



本大会で上位成績をおさめられた会員の8名は、10月9日(木)開催されます県大会に出場します。

また、9月2日(火)は年金友の会グラウンドゴルフ大会の開催が予定されています。

J A 肝付吾平町年金友の会では、会員を募集し

ています。加入特典は、親睦イベントとして、ゴルフ・グラウンドゴルフのスポーツ大会、企画旅行等の開催や、会員限定のAコースでの粗品プレゼント『毎週木曜日』等の提供があります。笑顔が増える楽しい年金友の会です。

成績は右記のとおりです。

問合せ先：金融共済課 (金融) 58-6538



優勝	下園 廣雪さん
2位	今泉 利恵子さん
3位	上名主 健一さん
4位	日高 広さん
5位	中原 和徳さん
6位	今泉 洋一さん
7位	前田 昭紀さん
	日高 眞利子さん



次代をになう子どもたちの文化・交通安全への関心を育むために

令和7年度 JA共済 鹿児島県小・中学生

第69回 書道コンクール  
第53回 交通安全ポスターコンクール

作品募集

第69回 書道コンクール

応募資格 県下の小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)に在籍する児童・生徒。

応募規定 [課題]学年別に決められた右記の課題  
[作品の大きさ]①条幅=タテ約136cm×ヨコ約35cm(画仙紙半切)  
②半紙=タテ約33cm×ヨコ約24cm(一般的に使用されるものと異なるサイズの紙は使用しないでください)  
[書体]小学生は楷書、中学生は楷書または行書 [点数]条幅・半紙とも1人各1点  
[学年・氏名の記入方法]①小学校1年生および2年生:学年・氏名とも「漢数字」「漢字」「ひらがな」いずれでもかまいません。  
②小学校3年生以上:学年は「漢数字」、氏名は原則として「漢字」とします。

学 年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
条幅の部	やさい	すばる	せみの声	食を育む	耕す大地	不断の努力	歴史を紡ぐ	協同の精神	信頼の醸成
半紙の部	わら	めばえ	たねまき	結実	流れる雲	生命の源	相互理解	農業振興	晴耕雨読

第53回 交通安全ポスターコンクール

応募資格 県下の小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)に在籍する児童・生徒。

応募規定 [課題]交通安全を訴えるためのポスター  
①子どもまたは歩行者向け(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)  
②運転者向け(車・バイク・自転車などを運転する人に交通事故防止を呼びかけるもの)  
[作品の大きさ]四つ切サイズ(約54cm×約39cm)タテ・ヨコは自由 [点数]1人につき1点



交通安全ポスターコンクールキャラクター「ガショー」  
©2006 JA-KYOSAI

書道コンクールキャラクター「キョショー」  
©2006 JA-KYOSAI

応募方法 書道コンクール・交通安全ポスターコンクールとも在籍する学校を通じてJA(農協)に出品してください。  
●わくわくはお近くのJA窓口へお問い合わせください。

締切日  
令和7年9月2日(火)

[主催]農業協同組合・全国共済農業協同組合連合会鹿児島県本部

[後援]鹿児島県・鹿児島県教育委員会・鹿児島県警察・鹿児島県交通安全協会・南日本新聞社・MBC南日本放送・KTS鹿児島テレビ・KKB鹿児島放送・KYT鹿児島読売テレビ・日本農業新聞

問合せ先 金融共済課(共済) 58-6537

オートパル肝付あいら

営業時間変更のお知らせ



整備士不足に伴い、**18:00閉店**となります。



日曜日は車両販売の対応

整備・修理等は平日・土曜日の対応とさせていただきます。

\*第3日曜日は定休日となります。

自動車整備士

利用者様には大変ご迷惑おかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ オートパル: 58-6515

理事会だより

第三回理事会(四月九日)

- ① 事業報告会の開催日程及び役割分担等について
- ② 第十九回通常総代会の開催日程及び提出議案について

第四回理事会(四月二十二日)

- ① 令和六年度事業報告・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案及び注記表・部門別損益計算書の承認について
- ② 第十九回通常総代会について
- ③ 第十九回通常総代会の表彰について
- ④ 就業規則の一部改正について
- ⑤ 育児休業規程の一部改正について
- ⑥ 介護休業規程の一部改正について

第五回理事会(五月二十七日)

- ① 理事の報酬について
- ② 役員賠償責任保険の加入について
- ③ 業務報告の提出について
- ④ 令和六年度決算監査回答について



# ワイパーキャンペーン



キャンペーン期間 **6月30日まで**

通常1,100円(税込) → 特価660円(税込)

交換の目安

1. 筋状の線が残る
2. 動かしたときにガガガと引っかかったような状態になる
3. 水がにじむような感じになる
4. 拭きムラができる



①ワイパーは半年～1年ごとの交換が目安です。  
②雨の視界の悪さは、事故のもとです。視界確保・安全確保のため、この機会に交換しましょう。

**問合せ先**    **第1SS TEL:58-6381**    **第2SS TEL:58-5454**

6月～7月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
6/22 	23 	24 	25 	26 年金友の会員デー 農機具合同展示会(どっ菜市场)	27	28 利用者感謝デー(給油所)
29 みどりの日	30	7/1	2	3 年金友の会員デー	4	5 CSR活動 利用者感謝デー(給油所)
6	7	8	9	10 年金友の会員デー	11	12 利用者感謝デー(給油所)
13 【定休日】 Aコープ・オートパル・第1SS	14	15	16	17 年金友の会員デー ふれあい訪問日 子牛せり市	18	19 利用者感謝デー(給油所)
20	21 海の日	22	23	24 年金友の会員デー	25	26 利用者感謝デー(給油所)
27	28	29	30	31 年金友の会員デー	8/1	2 利用者感謝デー(給油所)

梅雨の蒸し暑さとともに夏の訪れを感じる季節となりました。

管内では5月末でピーマンの出荷は終了しましたが、なすや春かぼちゃの出荷やごぼう・加工用馬鈴薯の掘り取りも順調に進められています。

5月27日に第19回(通算77回)通常総代会が開催され、組合員・総代の皆様のご協力により、全議案承認いただきました。

今年度は、中期3ヵ年計画及び令和7年度事業計画に基づき、役員・従業員等一体となり、自己改革の着実な実践や組合員の方々との対話・意思反映を通じて、農家所得の向上並びにJA経営基盤の確立を進めてまいります。引き続きご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

蒸し暑い日が続きます。健康管理・安全管理等十分に留意され、農作業等頑張ってください。

編集後記